
編集後記

本編集後記執筆時の6月には世界的に大きな event がありました。6月12日に歴史的な米朝首脳会談が行われ、両国が署名した共同声明では、Trump 大統領が「北朝鮮の体制保障」を、金正恩委員長が「北朝鮮の非核化」を約束しています。世界平和のために多いに注目されましたが、TV news で観る限りではなんとも「玉虫色の決着」であり、スッキリしません。肝心の事項が持ち越しになっている感じがいたします。非核化をいつまでに履行するのか（時期）、具体的にどのようにやるのか（方法）が明確に確認されていません。米大統領は「自画自賛?」、金委員長は「ホッとした?」に違いありません。日本の拉致問題解決もまだ紆余曲折がありそうです。

また、多くの sport fan 待望の event として、6月は14日から soccer World Cup (Russia) が始まりました。4年に1度の大会であり、日本代表の実力はまだまだですが、1 soccer fan としてはぜひとも頑張ってもらいたいと思います。大会直前の監督交代 (Halilhodzic 氏→西野朗氏) が吉と出るか凶と出るか? 勝ってくれば、寝不足もまったく気になりません。(本誌発行時には日本の group league 敗退 or 決勝 tournament 進出が判明しているはずですが、さらに優勝国も明らかになっているわけですが。)

本号も透析医療に関わる広範囲な内容を集めました。医療制度・医療経済2編、医療安全対策2編、実態調査4編、臨床と研究8編、公募研究助成5編、等であります。各分野における expert の先生が精魂こめて執筆された論文であり、必ずや明日の臨床に役立つものと確信しております。

追記

6月18日に、大阪北部に M 6.1 の地震が、また7月になって西日本豪雨災害が発生しました。災害対策・診療報酬問題は本医会のいわば2本柱であり、この災害における透析施設現場の状況・対応の詳細につきましては、改めて本誌にて報告したいと思います。

会誌編集委員会委員長 久保和雄